

高校生がデザインした消防団のロゴマーク

出初式の虹色の放水をイメージしたロゴマーク。若い世代の消防団員を増やしていくためにも、若者の感性を取り入れようと昨年度、名張市消防本部が名張高校2年生にロゴマークのデザインを依頼。消防団のPRなどに活用されています。



災害や まちの

本団女性部

奥田 春菜 さん

長男が6歳の時、高熱を出して、幻覚から暴れだしたことがあった。「子どもを守れるのは自分しかない」と、子どもを守る知識を身につけるために消防団へ入団。

仕事と家庭を両立させながら、消防団で活動し、応急手当指導員・防災士・赤十字救急法救急員の資格を取得。中学3年生の男の子と5歳の女の子を持つ2児の母。



あるときは
働く2児の母!

素敵な笑顔の裏には、救命や防災にかける熱い思いが秘められているのだ!

変身!



知識や経験を皆に伝えたい!

消火器の扱いや心肺蘇生法など、防災や救命をたくさん学ぶうちにどんどのめり込んでいって。今では進んでオンライン研修会に参加するほどに。「次の研修で使えるぞ!」という情報を自ら集めています。

自分と同じように、「子どもを守らないと!」と感じている保護者に、少しでも知識と勇気を与えることで、安心してもらいたいですね。



女性同士だから分かることも

市内の育児サークルで乳児の救命講習の講師をすることもあります。参加しているのは小さい子どもを持つお母さんが多いので、同じ母親として知りたいことや気持ちも理解しやすいですね。女性同士ということもあって、気軽に何でも聞いてもらえるところが女性消防団員の強みだと思います。



アンシンダー! エル・エル・エル!

本団女性部は、20代~70代の女性19人(R5.7月現在)が防災訓練や啓発などを中心に活動中。子どもたちに大人気のアンシンダー!としても活躍しているよ!

災害対応には消防団が必要なんです!



我が事として考えて

市の団員数は、今年の4月時点で401人(定数500人)。年々、団員数が減少し、高齢化も課題となっています。

南海トラフ地震や豪雨災害などの大規模災害が起きた場合、あらゆる場所で家屋倒壊や土砂崩れなどが発生し、消防職員だけで対応することは困難です。発災直後は、すぐに消防隊が来ることができません。消防団員がいなければ、災害対応は不可能であり、消防団の存在が必要不可欠です。

会社員や主婦など様々な人が活動していて、どんな人でも消防団で活躍できます。また、ロックバンドで団員募集をPRするなど、自由な発想で取り組んでいただいています。安心安全な名張を守るために、皆さんもぜひ、消防団に入団してみませんか? あなたの力が必要なんです!

消防総務室 竹森 康介

消防団員になるには?

市内在住の18歳以上の人で、消防団活動に支障のない人なら誰でも大丈夫! **会社員、自営業者、学生、主婦など、職種、男女は問いません。**

「続けられるか心配…」という人のために、入団して1年後に、事務局が継続・退団の意思を確認する機会を設けています。

詳しくは、市HPをご覧ください!



消防総務室 ☎ 63-5990



初心者でも安心! 入団式後に基礎的な訓練があります。その様子を動画でご紹介!

火災の時は、いち早く駆け付ける / HERO に大変身!

ヒロ

箕曲分団 瀬古口班

角田 航太 さん

何か地域のために役に立つことをしたい、思いついたのが消防団の活動だった。今年で入団11年目になる。

休日は、今、子どもたちに大人気の三重のシャボン玉おじさんとして活躍中! 「シャボン玉おじさんも消防団も地域のために何かしたいという気持ちは同じです!」と熱く語ってくれた。

普段の活動の様子はシャボン玉おじさんのInstagramで!



あるときは
シャボン玉おじさん!



竿を持ってシャボン玉を飛ばす「シャボン玉おじさん」として人気。火災時には、現場へ駆けつけ、ホースを持って水を飛ばすのだ!



変身!

防火意識が高まった!

火災現場に行くことも多いので、防火への意識が入団前よりも大きく変わりました。「自分の家も気を付けなさい!」という意識になり、家族とも防火について話し合うことも。寝る前には、火災の原因になるものはないかと家中を点検するなど、消防団に入ってから、防火意識が高まりましたね。

私の住む瀬古口地域は、木造の家や狭い路地、家が密集している所が多いため、「もしここが火事になったら消防車が入れるのか?」「燃え広がると被害が大きくなるのでは?」と、日頃から防火を意識して、自分のまちを見るようになりました。

たとえ夜中でも駆けつける!

夜中でも火災があれば、消防団員は、我がごとのようにすぐに駆けつけます。私の所属する消防団は、この地域に住んでいて小さい頃から知っている顔なじみばかり。地域の繋がりが強いので「自分のまちは自分で守る!」という思いもすごく強いんだと思います。

消火活動以外にも防災訓練や年末のパトロールなど、仕事の都合で参加できない時もありますが、団員同士で協力し合いながら、地域を守るために活動しています。

もっと知りたい! 消防団のあれこれ

報酬や手当はあるの?

年間一定額の報酬(団員の場合、34,000円)や出動した場合の手当、一定期間活動し退団した場合の退職報償金を支給します。

学生でも入団できるの?

学業と消防団活動の両立も可能です。現在、2人の学生が消防団で活動しています。また、1年以上継続的に活動すると、就職活動に活用できる「認証状」を交付。ぜひ学生の皆さんも消防団へ!

どんな活動をしているの?



消火活動はもちろん、地震や風水害など大規模災害発生時の救助や警戒巡視・避難誘導などを行います。「あの家にはお年寄りが住んでいる」など、地域のことをよく知る強みも生かしながら対応します。

日々の訓練や防火、防災

などの啓発活動も消防団の重要な活動です。最近ではドローン隊が誕生! 災害状況の確認や行方不明者の捜索など、その活動の幅は広がっています。



ドローンの勉強や訓練も欠かせません!